

第24期第6回第二部会議事要旨

日 時：令和元年10月16日（水） 15:00～16:30

令和元年10月17日（木） 10:00～12:00

場 所：日本学術会議 6-A(1)(2)会議室

出席者：（敬称略）東、秋葉、石川、今井、巖佐、市川、伊佐、池田、石塚、遠藤、大杉、小川、越智、片田、甲斐、神尾、神谷、神奈木、菊池、経塚、木原、熊谷、小松、佐治、澁澤、杉本、丹沢、武内、武田、多久和、丹下、南條、名越、西村（い）、西村（理）、仁科、西村（正）、平井、深田、古谷、藤井、寶金、眞鍋、松本、松田、三村、水口、村川、森、望月、山極、安村

議題

1 第24期における提言等の案の提出の最終期限について（資料1）

石川部長より、資料1に基づき幹事会査読にかけるための提言等の案の事務局提出期限が4月末日であることから、第二部査読のための事務局提出期限を令和2年2月末日とすることが報告された。

2 各分野別委員会からの報告（資料2）

基礎生物学委員会（報告者：三村）、統合生物学委員会（巖佐）、農学委員会（仁科） 食料科学委員会（澁澤）、基礎医学委員会（甲斐）、臨床医学委員会（神尾）、健康・生活科学委員会（片田）、歯学委員会（丹沢）、薬学委員会（望月）、環境学委員会（武内）、第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティー分科会（平井）から、前回部会以降の各委員会に属する分科会での審議状況や公開シンポジウムの開催、提言等の発出について報告があった。臨床医学委員会から、臨床研究法の改正に伴う課題について日本医学会連合と協議し、厚生労働省への要望書提出に協力した旨、報告があった。

3 各幹事会付置委員会からの報告について（資料2、3、6）

地方学術会議委員会（報告者：石塚）地方学術会議の開催状況や来年度の開催計画等について情報提供があった。

日本の展望2020検討委員会（石川）進捗状況について説明があった。

財務委員会（石川）昨年度予算執行の反省から、適正な予算執行に向けた審議が行われていることが報告された。

危機対応科学情報発信委員会（三村）自然災害や原発事故のような産業災害、パンデミック等が発生した際の科学情報の発信のあり方についての審議状況について報告があった。

4 各機能別委員会からの報告（資料2、4）

○科学者委員会（男女共同参画分科会（報告者：名越）、学術体制分科会（武田）、学協会連携分科会（望月）、研究計画・研究資金検討分科会（武田）、学術と教育分科会（平井）、ゲノム編集技術に関する分科会（武田）、研究評価分科会（武田）、 軍事的安全保障研究声明に関するフォローアップ分科会（大杉、石川が代理説明））の各分科会での審議状況について報告があった。学協会連携分科会から、協力学術研究団体規程の改正にあたり、協力学術研究団体の指定要件（研究者の定義、機関誌（学術誌）の発行形態）についての検討状況について説明があり、意見交換した。学術体制分科会から、第 6 期科学技術基本計画の策定に対して発出予定の提言の内容について紹介があった。研究評価分科会から、研究評価の在り方に関するアンケート調査が予定されていることが報告された。

○科学と社会委員会（ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会（報告者：武田）、年次報告検討分科会、課題別審議等査読分科会（平井）、市民と科学の対話分科会（平井）、メディア懇談分科会（山極）、政府・産業界連携分科会（山極））の各分科会の活動状況について報告があった。ゲノム編集技術のヒト胚等への応用に関する学術フォーラムを 11/24 に開催予定。

○国際委員会（報告者：武内）（国際会議主催等検討分科会、アジア学術会議等分科会、日本・カナダ女性研究者交流分科会、Gサイエンス学術会議分科会、I S C 等分科会、国際対応戦略立案分科会、フューチャー・アースの国際的展開対応分科会、科学者に関する国際人権対応分科会、持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2018 等分科会）の各分科会での審議状況について報告があった。科学者に関する国際人権対応分科会では、政府（国）と科学者との間の争いにおける科学者の人権について、日本としての定義に関する審議が行われていることが紹介された。

5 第 24 期課題別委員会からの報告（資料 2、5）

各委員会での審議状況やシンポジウムの開催、提言等の発出などについて報告があった。

○防災減災学術連携委員会（報告者：武内）

○科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会（武内）

○フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会（武内）（持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会、フューチャー・アース国内連携分科会）

気候行動サミットに対する会長談話を環境省地球環境局長に手交

○自動車の自動運転の推進と社会的課題に関する委員会（澁澤）9/16 に学術フォーラムを開催

○人口縮小社会における問題解決のための検討委員会（経塚）提言

○人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会（澁澤）

○認知障害に関する包括的検討委員会（寶金）2/14 に学術フォーラムを開催予定、提言として発出する予定

○科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会（神尾）

○オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会（澁澤）

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会より、国連気候行動サミットに合わせて会長談話「地球温暖化」への取組に関する緊急メッセージ」を発出したことが報告された。科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会から、学術フォーラム「科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方」を10/3に開催したことが報告された。

6 その他

1) 予算執行について

石川部長より、10月以降の2回目分科会開催希望調査の結果に基づき概算した今年度の第二部予算執行見通しから、旅費は残予算がないため支払いできない条件で3回目分科会開催希望調査を11月上旬締め切りで行うことが報告された。

2) 日本の展望2020（資料6）

石川部長より、来年3月を目途に出版を予定しており、また学術フォーラムの開催に向けたプログラム委員会の設置が予定されていることが報告され、第二部からの委員を小松会員に委嘱することが承認された。

3) 日本医学会連合・生物科学学会連合との連携

菊池会員より、生物科学学会連合での審議状況について、生物教育の在り方が主要な議題であることが紹介された。

4) 第二部拡大役員会について（資料7）

石川部長より、第二部がカバーする学術分野や傘下の分科会の活動に関する情報共有と連携を目的として、第二部の役員と分野別委員会委員長、関連学協会連合体代表者による会合を、第二部拡大役員会として定期的に開催したい旨の提案があり、承認された。本年度中に第一回を開催予定。

5) JST 研究開発戦略センターとの連携（資料8）

石川部長より、ライフサイエンス・臨床医学ユニットと第二部有志との意見交換会が10月19日（土）に開催されることが報告された。

6) CSTI 関連の報告

山極会長より、CSTIの有識者会合において、基礎研究力強化、大学支援フォーラムPEAKS、第6期科学技術基本計画、内閣府の大型研究プログラム（SIP、PRISM）の評価のあり方、新規大型研究プログラム（ムーンショット）、大学ガバナンスコード、産学連携の促進等について審議が行われていることが紹介された。

7) BSL4 の対応（資料9）

石川部長より、長崎大学が計画しているBSL4施設設置に対する反対運動を行っている団体からの要請についての回答について紹介があった。

8) 第 25 期会員選考について

事務局担当者から第 25 期会員・連携会員選考の方法や日程について説明があった。

9) 学術会議の今後の体制について

石川部長より、日本学術会議予算の制約から分科会開催が制限されている現状を踏まえ、それぞれの分科会について、第 25 期での存続・統合等について検討いただきたい旨、要請があった。

10) 専門医制度シーリングによる日本の研究力低下への影響に関して

石川部長より、厚生労働省管轄の日本専門医機構が担っている専門医制度において、専攻医採用数に地域別・診療科別にシーリングをかけることが検討されており、そのまま導入されると臨床医学分野における教育・研究への多大な悪影響が懸念され、CSTI において日本学術会議としての問題提起を行ったことなど、対応について報告があった。本件に対応する分科会等を設置することが承認された。